

地域おこし協力隊の活動日誌

地域の新しい活力をめざして



(写真1) 新田学園で実施された授業風景。

(写真2) 新田学園での田植え体験に、児童とともに参加。



(写真3) オンラインでの講座開催の様子。

地域おこし協力隊員の活動をお伝えするこのコーナー。今回は「地域の教育事業」に取り組み隊員を紹介します。

① 学校でのキャリア教育・課題解決型授業の取組

文部科学省は、児童生徒一人ひとりが「生きる力」を身に着け、

しっかりとした勤労観や職業観等の価値観を自らつけていくために、「キャリア教育」を推進しています。

町内の小中学校でも宮崎県の方イドラインに沿って、学校の中に地域社会の方々をお招きし、今の仕事の話や、その仕事を始めた経緯、そしてこれからの目標などを語っていただくような授業を実施しています。

そこで地域おこし協力隊は、こゆ地域づくり推進機構と連携して、各小中学校のキャリア教育に関する依頼に取り組んでいます。具体的には、町の課題について考える児童生徒の取り組みや、地域を知るための活動などを支援するため、地域人材の紹介や、授業内容の提案、授業でのサポートなどを行っています。(写真1・2)

② 社会人向けの教育支援

社会人向けの取り組みとして、起業家育成のための各種講座運営を、地域おこし協力隊が担っています。

こゆ地域づくり推進機構が主催する起業家育成のための講座は、新しいチャレンジに挑もうとする方に、さまざまな分野で活躍する全国の事業者の方をお招きして、学んでいただくものです。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、その場が集まって行う講座ができなくなりましたが、これまでの経験を活かして、すべてオンラインでの取り組みに振り替えています。(写真3)

このような活動の中から、やがて町の産業の担う方が増え、さまざまな産業が生まれることを期待しています。

なかなか地域の皆さんと触れ合う機会の少ない地域おこし協力隊員ですが、活動の様子を今後も詳しくお伝えしていきます。これからも地域おこし協力隊をよろしくお願ひします。(文責：総合政策課有馬)